

令和四年度 あすか安全大会が開催される

6月18日(土)午後、大田文化の森ホールにおいて令和四年度のあすか創建安全大会が開催された。昨年に比べ規模を拡大し、約80名の参加となった。冒頭主催者である浅野嘉章社長からは、「私たちにとってまず何よりも大事なことは安全第一で仕事を進めること。自らの怪我はもちろん、一緒に働く仲間や第三者にも怪我をさせない、安全第一の心構えを改めて認識して欲しい。また、社会インフラ整備を担う建設会社として、品質の確保とコンプライアンスはプロとしての矜持である。」という旨の挨拶が行われた。

引き続き、ピーアールエム研究所所長 今泉發三様からは『“全脳活性化”および“潜在意識を意識した”労働安全対策』と題して、①脳の特長面から見た不安全行動とその安全対策、②朝礼など日常業務における安全対策、③連続災害徹底的防止による安全対策など、様々な体感テストを取り入れて“脳の潜在意識”にはたらきかける安全対策について貴重なご講演をいただいた。

その後、休憩を挟み各種表彰式(無災害継続・安全・品質・CS・損傷ゼロ・グリーンカード等)、そしてあすか創建労働組合 大館達也執行委員長によるゼロ災唱和、永島隆一建設本部長の閉会の辞で閉幕した。



浅野社長 挨拶



講演 今泉氏



表彰式



永島本部長 閉幕の辞